講義名	国際マーケティング論				授業形態	7 8	その他				
神野大口	国际マ ファインノ語				1文条/// 悠		対面授業教材配布				
中小学言	× +/-	開講期・曜日・時間	員 前期 水曜日 3時限	艮		11	9X 1/3 HC/TD				
担当教員	潘志仁	*	MR BB 40 F 11	ナンバリング・	· = I	<b>-</b>					
		単位数 2 履	修開始年次 2 年生	- F		ᆚᅵ					
主題と概要						╗╏	受業計画				
国際マーケティン 殊な問題領域があ	グと国内マーケティングは原理的に異なるものではない。では、 るからである。本稿要ではグローバル・マーケティング・・サー げブコン 古も本色書が実際によりのようにグローバル戦略を展開 の理論をとりるが、国際マーケティンの理論と対象を明られた マーケティングに関心のある学生に扱り込んでいます。そうでな	なぜ国際マーケティング チ、グローバル・セグメン	をあらためて勉強するする必 ソテーションとポジショニン	要があるのか。それはマーケ グ、グローバル・マーケティ	ティングの一般理論では説明できないな ング戦略、グローバル市場参入戦略の4	iā -					
つを中心に取り」 さける。いくつか 講義の昭準は国際	:げつつ、日本企業が実際には、とのよつにクローバル戦略を展開 ・ の理論をとりあげ、国際マーケティングの理論と現象を例示的に ・ マーケティングに関心のある学生に終り込んでいます そうでん	間しているかを、イオンと∘ □説明するように努めてい。 『い学生の受講を勧めません	イトーヨーカ室を事例として く。 、	取り上げる。講義にさいして	「は、特定の埋論や立場に固執することを	€	1.本講義のねらい 2.グローバリゼーション	のなかの企業のグローバルマーケラ	ティングの重要性		
調教のボール国内	(( )) イングに関心ののも手上に取り込がています。 こうてん	い子王の文詞を勤めると	0.			ш	3 . グローバル・マーケテ 4 . グローバル・マーケテ	ティング・リサーチーリサーチすべき ティング・リサーチー一次データに フェーショントポジショニング一回	き問題の定式化と二次データのリサーチ よるリサーチと市場規模の評価 ************************************	<b>Ŀ</b> ≥,+11≠	
						ш	6 . グローバル・セグダン 7 . グローバル・マーケテ	/ / ーノョノと小ノノョーノソー国R / テーションとポジショニングー国R Fィング戦略 - グローバル・マーケラ	宗巾場とケベンテーション・アフローテで 祭ポジショニング戦略 テイング戦略	22794	
						ш	8 . グローバル・マーケテ 9 . グローバル市場参入戦	Fィング戦略―グローバル・マーケラ 攻略ーダイキン工業の米国参入戦略(	テイング戦略の地域化 (外部講師)		
						ш	10.グローバル市場多入戦 11.グローバル市場のブラ 12.イオンのグローバル戦	略=タイキノ工業の中国多人戦略 ランド戦略=ダイキン工業の中国ブラ 略 - 香港出店戦略	ランド戦略		
						ш	13. イオンのグローバル戦 14. 企業グローバ戦略の	成略 - マレイシア出店戦略 理論 - プロダクト・サイクル・モデ	ティングの重要性 上のグラリスティンデータのリサーチ を取ります。 東京場セイングラーション・アプローチ & ボーダンラニングの ボーダンラニングの ボーダングリー ボーダングラー ボーダングー ボーダー ボーケー ボーケー ボーケー ボーケー ボー ボーケー		
到達目標						<b>⊣</b> I	15.まとめ				
901年16年(1) 基礎知識を理解すことで、国際マーケテイングの理論を習得することができる。 (2) 国際マーケテイングリサーチ技法や参入教略の誘題を自ら考え、把握することができる。また企業が国境を越えて直面する諸誤題を自ら発見し、主体的にかつ柔軟に取り組むことできる。						71					
(2)国際マーク	テイングリサーナ技法や参入戦略の課題を目ら考え、把握するこ	- どかできる。また企業から	<b>汕現を越え(且面りる語課題</b>	を目り発見し、土体的にかつ	実軟に取り組むことできる。	ш					
						ш					
						ш					
						ш					
						ш					
						ш					
						ا لـ					
是出課題	1974-191-4-4					41					
中間課題と期末部	避を謀しより。					1	受業形態(アクティブ	・ラーニング)			
						۱ľ	ア: PBL (課題解)	,		$\neg$	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
							〇 ウ:ディスカッシ				エ:グループワーク
						11	オ:ブレゼンテー				カ:実習、フィールドワーク
						11	キ:その他(AL	型であるけども、以上の項目のいす	『れにも該当しない場合)		
						9	<b>集借学修(</b> 子型,復習	等)の具体的な内容及びそれ	つに必要か時間		
mov						_l f	各回の予習では、まず、事	事前に教員が指定する範囲を読んで、	、全体の講義内容を知っておきます。つ	ぎに、理論	や概念の意味を中心に調べておくが、わからない単語・キーワード・概念は赤線で示したうえで、打 うかな?」、「それは違うじゃないか」、「ちょっとおかしいよ」と疑問を持って読むように努力し
課題(レボート 授業中に講評・解	や小テスト等)に対するフィードバックの方法					-11	中、とくに集中しく聞く。 しょう(2時間)。 各回の復習では、授業では	よつにしまり。 さらに、その概念に「 は「何が分かったか?」や「何がま;	関連する実際の動き・事実・実態につい だ分からなかったか」を理論・概念と事	宝・宝能に	<b>つかな?」、' てれは遅つしゃないか」、' ちょっとおかしいよ」と疑問を持って読むよつに劣力い</b> 昭らしながら、頭に叩き込みましょう。その日のうちに、しっかり復習しましょう(2時間)。
反来中に調計·#	an centural y					ш	上述したような学習目標を	を達成するためには、予習と復習に	必要な4時間を確保しよう。	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	照らしながら、頭に叩き込みましょう。その日のうちに、しっかり復習しましょう(2時間)。
						ш					
						ш					
						ш					
								方針と当該授業科目の関連			
評価の基準						41	本授業の到達目標は、本等界、流通に関する問題探索	孝ティブロマーボリシー「マーケテ・ 索、課題提案ができる」に関連する。	イング動向、流通業界及び関連産業の動「 ・	同や問題点を	を理解するための専門知識を身につけ、これをもとに国際参入戦略、国際マーケティング戦略、小引
中間課題:40点	<b> 期末、課題:40点 、ディスカッションへの関与度(発言、質疑</b>	、教員との議論):20点				ш					
						ш					
						ш					
						ш					
						ш					
						ш					
						ш					
<b>司格仁士士</b> 一						<b>-</b> □					
	の注意・助言他 オーラルラーニングを重視するので、学生と教員のディスカット	/ョンをしたがら掲巻を進ん	カく 受講者は必ず毎回の授	業にむけて予盟と復盟を心が	(けてください	- 1	双方向授業の実施及び	ICTの活用に関する記述			
「遅刻する」、「	オーラルラーニングを重視するので、学生と教員のディスカッシ 出入りする」、「私語をする」、「居眠りをする」と大人の態度	を行動を遵守できない学	Éには、受講を強く遠慮順い	ます。	17 C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	ΗГ	この講義においてオーラ/ 授業中の発言や質疑応答に	ルラーニングを重視するので、学生 は成績にカウントされるので、振る:	と教員のディスカッションをしながら授 って発言と質疑を奨励する。	業を進めく。	•
						ш	2271-770-1-2470-1		- 1,511 - 2,700 / 50		
						ш					
						ш					
							実務経験の有無及び活	in and the second			
						Ηf					
						ш					
WL T'U MIL						41					
改科書 .「使用しない」		1				-					
20-6411		+		<del>                                     </del>		4 k					
4. 本四字							着考	TWO CONTROL OF THE CO	7-464-00±00/\4\2-4-0*****		
参考図書		1				41	オノイスアワー:水曜日年研究室メールアドレス: Z	干後12時15分から12時50分、木曜日 Phiren_Pan@red.umds.ac.jp	十夜 いがりいかから 14時時30分		
		+		<del>                                     </del>		<del> </del>					
		1				+ $ $					
					1						